

第 58 回（令和 8 年度第 1 回） 暁木会・ KTC ・ 神戸大学意見交換会 議事録

■日 時： 2026 年 7 月 9 日(木) 17 時 30 分～19 時 30 分

■場 所： 神戸大学工学部 AMEC3

■出席者： 神戸大学 鋤田先生、大石先生、内山先生、橘先生、椿先生、橋本先生
暁木会 坪本会長、門脇副会長、中田幹事、射場幹事、辻幹事、佐伯幹事
篠原幹事、吉牟田幹事、上山幹事
KTC 濱村副理事長、安藤理事

■議 事：

1 暁木会会長あいさつ

坪本会長よりあいさつ

2 KTC 副理事長あいさつ

濱村副理事長よりあいさつ

3 市民工学専攻長あいさつ

鋤田市民工学専攻長よりあいさつ

4 学術振興基金助成金の贈呈

坪本会長より、鋤田専攻長に助成金を贈呈

5 自己紹介

<意見交換会>

6 暁木会からの報告

○主な年間行事予定(資料2)

(暁木会)

- ・ 今年度の神戸大学ホームカミングデイは 11/7 の予定。昨年度より少し遅い時期となる。
- ・ これまで、大学との意見交換会を年 3 回行ってきたが、今年度は 2 回とさせていただく。
- ・ 3/25 の総会は、予約の都合で楠公会館から JR 神戸駅付近の別会場へ変更する。

○令和 7 年度暁木会総会概要・振り返り(資料3)

(暁木会)

- ・ 令和 7 年度は、総会と卒業記念パーティーに分けて開催したことや、先生方から学生への声掛けにより、卒業生・修了生の参加が大幅に増加した。
- ・ 令和 8 年度も 2 部制は継続する。
- ・ 記念パーティーの進行シナリオについては、改善していきたい。

(大学)

- ・ 各支部と学生のマッチングはどうだったのか？支部に聞いてみてはどうか。

○土木業界説明会の実施概要(資料4)

(暁木会)

- ・ 6/12 に土木業界説明会を実施し、学生からは概ね好評であった。
- ・ 今年度から修士1年生も対象としたが、参加者は4名であった。
- ・ 業界説明会後に個別企業ヒアリングの時間を設けたところ、想定を超える参加(約 3 割)があった。参加企業の意見も好意的であり、来年度に向けて改善していきたい。

(大学)

- ・ 就職活動をする学生への OB の斡旋は行っているのか？
→OB 斡旋は KTC が行っている。もっと周知した方がよいかもしれない。(KTC)
- ・ 説明会の最後に、暁木会総会への参加を促してはどうか。
- ・ 参加 OB が会費会員でないことが多いので、何か考えてみてはどうか。
- ・ 個別企業ヒアリングは、時間を区切って3周くらい回るのがよいと思う。
- ・ 説明会最後の企業 PR は時間制限を設けた方がよいかもしれない。
- ・ 基本的には今のやり方を継続しつつ、部分的に改善していけばよい。

○令和8年度の会員情報(資料5)

(暁木会)

- ・ (資料により会員情報を説明)
- ・ 各所属での声掛けも注意深く行う必要があり、会費会員増がなかなか難しい状況。

(大学)

- ・ 土木業界説明会の参加者への声掛けを検討してみてはどうか。

○暁木会ニュース No.55(資料6)

(暁木会)

- ・ 9 月に No.55、3 月に No.56 を発行する予定。(年2回発行)
- ・ 支部総会報告は、間に合えば 6 月の東京支部総会を掲載したい。
- ・ スタートライン執筆者(社会人 1～3 年目の会員)の確保が難しくなっている。

(大学)

- ・ スタートラインではなく、対象年齢が広がるように名称変更してはどうか。
- ・ 学生表彰の受賞者への依頼、大学教員からの推薦、次の執筆者を順に指名する等の方法も考えられる。
- ・ A 4 サイズ 1 ページでは負担が大きいので、分量を少なくして執筆者を増やすのはどうか。
- ・ P D F 配信が若者のスタイルに合わないので、S N S の活用を検討してもよいのではないかと。紙面も若々しいスタイルにしてはどうか。
→紙の暁木会ニュース廃止は難しい。S N S との併用になると思う(暁木会)
- ・ 暁木会ニュース作成に学生アルバイトを活用するのはどうか。自分の先輩に声掛けしやすいし、紙面リニューアルの良い案がでてくるかもしれない。

7 KTCからの報告

(KTC)

- ・ 昨年度は、KTC100 周年イベントに協力いただき感謝する。次は 2029 年に暁木会 100 周年があるのでよろしくお願いします。
- ・ 今年度のホームカミングデイは、学園祭にあわせて 11/7 に行う。
- ・ 1回生のKTC加入率は75%程度。近年の加入率は8～9割なのでもう少し努力したい。
- ・ 会費を活用した学生支援の充実に取り組んでいきたい。メルボルン渡航について、文科省補助がなくなるので、KTC助成の取扱いを検討したい。

8 神戸大学からの報告

(大学)

- ・ 今年度は60名の学生が入学し、休学もない状況。
- ・ 学生会館の屋根崩落については、学内の委員会で検証中。
- ・ メルボルン渡航は良いプログラムだが、文科省補助がなくなるため、学生にも費用負担してもらう必要がでてきた。引き続きKTCからの支援をお願いしたい。

9 その他(市民工学科・暁木会 100 周年)

(暁木会)

- ・ 2029 年に 100 周年を迎えるため、今後式典等について検討を始める。
- ・ 今年 9～10 月頃には、100 周年に向けた準備会等、体制を決めていきたい。

(大学)

- ・ 過去からの入学時写真がある。記念誌への活用を検討いただければと思う。
- ・ 過去の暁木会ニュースも活用できるのではないか。
- ・ 記念誌編纂にも学生アルバイトを活用できるかもしれない。